

失敗を恐れず果敢に挑戦を

中部日本プラスチック職業訓練校

平成21年度修了者は39名



後藤校長からはなむけの言葉

愛知県認定中部日本プラスチック職業訓練校の平成21年度修了式を3月19日名古屋市工業研究所で開催した。普通課程（養成訓練）は修了者6名、短期課程（通信教育）は1級7名、2級26名であった。

初めに後藤校長はお祝いの言葉をおくり、「先行きは不透明で混迷な時代ですが、皆さんは失敗を恐れず、果敢に挑戦して行って下さい。学んだことを各企業に持ち帰って自分のスキルアップにつなげていただきたい」とはなむけの挨拶を行った。

続いて修了証書の授与、成績優秀者の表彰が行われ、各受賞者には賞状と記念品が贈られた。

引き続き来賓の愛知県産業労働部労政担当局産業人材育成室長補佐吉田和裕氏から「訓練で身につけられた技能を研鑽され、愛知の次代を支える優秀な技能者として活躍されますことをご期待申し上げます」旨お祝いの言葉があり、最後に6名の講師から「訓練で習得された知識

をもとに新しいシステムを考える上で役立てていただきたい」、「スキルを上げ、会社に必要な人間になって会社や社会に貢献されることを期待します」、「これからの大切だ、新しいことに挑戦してください」と一言ずつ励ましの言葉がおくられた。

〈成績優秀表彰者〉

愛知県職業能力開発協会会長賞

酒井 晶規 (株)みづほ合成工業所

社団法人 愛知県技能士会連合会長賞

渡部 啓 (株)鈴木化学工業所

中部日本プラスチック職業訓練校長賞

三浦 佑一 中部エクストロン(株)

勝村 大志 三甲(株)

大森 幸樹 三甲(株)



修了証書の授与

特級合格者15名に

平成21年度後期技能検定

平成21年度後期技能検定の合格者が、3月16日愛知県職業能力開発協会から発表された。

各作業別の技能士合格者数（合格率）は、プラスチック成形〈特級〉15名（35.7%）、ブロー成形〈1級〉2名（66.7%）、〈2級〉4名（57.1%）、射出成形〈3級〉18名（90%）の結果であった。

以下、特級技能士合格者名（協会・組合関係分）のみ掲載（順不同・敬称略）



アイシン精機(株)
五十嵐 照樹



旭化学工業(株)
柳原 隆志



シミズ工業(株)
千 雅人



タツミ化成(株)
青木 一矢



(株)東海理化電機製作所
竹本 雅宣



豊田合成(株)
立川 俊二



(株)名機製作所
阿南 一也



工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料

睦物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号

TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪 営業所：静岡

受検者増員めざす

後期技能検定反省会

3月23日午後6時30分から名古屋市中区の伏見にある会集で検定委員など8名が参加して、21年度後期の反省と今後の方針を話し合った。

冒頭原田技能検定委員長から実技試験に対し労いの挨拶があった。続いて、事務局より3月16日の合格発表結果に基づき、合格率等について説明を行った。

ブローの実技は1・2級で6名受検したが、それぞれ1名が不合格となった。受検者が少ないので全員合格しないといけないとの意見もあった。射出に比べ事業所数は少ないが、やはり受検者の増加を図らないといけない。来年度は会員外の事業所にも積極的に受検を呼びかけ、周知を図ることになった。

平成22年度技能検定実施日程

項目・職種	前期	後期
	射出成形 1・2級	
実施公示	平成22年 3月2日(火)	平成22年 9月3日(金)
受検申請の受付	平成22年 4月5日(月)	平成22年 9月27日(月)
	平成22年 4月16日(水)	平成22年 10月8日(金)
実技試験問題公表	平成22年 6月1日(火)	平成22年 11月19日(金)
実技試験	平成22年 6月7日(月)	平成22年 11月29日(月)
	平成22年 9月12日(日)	平成23年 2月20日(日)
特級		平成23年 1月30日(日)
学科試験	平成22年 8月22日(日)	平成23年 2月6日(日)
特級		平成23年 1月30日(日)
合格発表	平成22年 10月1日(金)	平成23年 3月15日(火)
合格証書交付	平成22年 12月中旬	平成23年 5月中旬

改正労働基準法説明会開く

講師に北見昌朗氏招へい

3月10日午後2時より名古屋市工業研究所第2会議室において、社会保険労務士法人北見事務所長の北見昌朗氏を講師に迎え、「労働基準法の改正とこれからの労働・雇用政策」と題して4月改正施行される改正労働基準法の説明会を開催し、35名が参加した。

冒頭北見先生より、政権が民主党に変わって雇用・労働政策がどのように変化するか、労働環境を整備することを目的に今回の労基法改正が成された。今後、最低賃金が800円（3年以内に1000円）、短時間パートタイマーも社会保険に加入、パートタイマーも正社員と均等待遇（賃金・賞与・退職金等）、派遣法改正（期間の定めのない雇用）が実施されると会社経営に大きな打撃を与えかねない。早め早めの対応が肝心である。今後の雇用対策が本日の説明会の最重要ポイントであると強調。

労基法の改正点は、①月60時間を超える法定



改正労働基準法説明会

時間外労働に対して、割増賃金率50%への引き上げ、又は、割増賃金分の有給休暇を付与する（中小企業は当分の間適用を猶予）。②年次有給休暇を1年に5日分を限度として、時間単位で取得できるようにする。詳しい内容は、厚生労働省のホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/topics/2008/12/tp1216-1.html>）をご覧ください。

平成22年度税制改正

(中小企業関係)

平成22年度中小企業関係税制の改正が実施され、主な改正点は以下の通りです。

①中小企業投資促進税制を2年間延長。（税額控除7%又は特別償却30%の選択適用を認める）

②少額減価償却資産を取得した場合に即時償却を認める制度を2年間延長。（30万円未満の減価償却資産を取得した場合、合計額300万円を限度として、全額損金算入〔即時償却〕を認める）

③一人オーナー会社（特殊支配同族会社）の役員給与に対する損金不算入措置の廃止。

④交際費について損金算入を可能とする特例措置を2年間延長。（定額控除限度額（600万円）まで、交際費支出の90%相当額について損金算入が可能）

⑤研究開発促進税制・中小企業技術基盤強化税制について、試験研究費を増加又は比率が高い企業に対する税額控除の上乗せ措置の2年間延長。

詳しくは、中小企業庁のホームページ（<http://www.chusho.meti.go.jp>）をご覧ください。

ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012
TEL(052)931-1211(代)
FAX(052)930-1975

BLOW MOLDING

Gp ゴトープラスチック株式会社

取締役会長 後藤 壽夫

〒452-0838 名古屋市西区長先町59番地
TEL (052)502-7671
FAX (052)502-6451
Mail;t.goto@goto-plastic.co.jp



ご存じですか?
「プラスチック中部」
がネットで～

皆さん、協会のホームページを開いたことがありますか。いろいろな情報が満載です。

まだ見たことがない人は是非ご覧になって下さい。協会の名前を入れて検索するだけです。一度見たら後は「お気に入り」に登録しておけば次回からは簡単です。

「プラスチック中部」も掲載されています。

第20回国際プラスチック・ゴム見本市

Koplas2010見学記

宇佐美教之（ウサミ化成）

6年ぶりに韓国プラスチック・ゴム見本市の見学に4月2日から2泊3日で児玉理事長と2人でソウルを訪れた。



会場前で児玉氏（左）と宇佐美氏

ウルを訪れた。

到着後、成形機の省エネ機器の開発者とソウル郊外の水原市の成形工場での稼動状況を視察。後、NADA社に移動、Emoldのサンプルを見て説明を受けディスカッションをした。詳細については、児玉理事長に。

ソウルの交通渋滞は相変わらずで1時間の距離が2時間以上もかかりホテルに到着したのは午後8時になってしまった。

翌日、Koplasの見学に出かけた。6年前は市内で開催されていたが、今回はソウル郊外の高陽市のKINTEXで開催だった。外国人見学者は無料で登録し、カードを貰い首に掛けて入場した。前回より広い会場で見学しやすかった。

成形機メーカーも多数出展しており、日系企業も数社あり話も聞いた。全体に盛況と児玉さん共々感じた。小生が特に感じた事は2点。

①男女高校生が社会見学か、先生に引率され団体で多数見学していた。この業界の次世代を担う人がこの中から出るのかなと感じた。

②IT先進国の韓国ならではの、各ブースに四角の柱が立っていたが、カタログを貰ったら名刺あるいは記帳ではなく柱の上部の窓に入場者カードをかざせばよかったこと。小生の認識不足で日本でもあるかも。

最後の日は折角韓国を訪れたのだからと、歴史に良く出る江華島を観光して帰国した。

韓国グリーンエネルギー技術(株)の定電圧供給装置とNADA社のEIMOLDシステムの見聞記

児玉康彦（三扇化学）

ソウル郊外の水原市の成形工場での油圧式80



株式会社 三幸商会

取締役社長 若尾 剛

名古屋市千種区内山三丁目3番2号 〒464-0075

TEL (052) 733-5111(代) FAX (052) 733-5141

Sanko Shokai Co., Ltd

3-3-2, Uchiyama, Chikusa-ku, Nagoya, Japan

TEL : (052) 733-5111 FAX : (052) 733-5141

取出用ロボット・FAシステムの総合開発



株式会社スター精機
名古屋支店

〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133

TEL 0587 (95) 7557 FAX 0587 (96) 1291

浜松営業所 TEL 053 (432) 6131 富山出張所 TEL 076 (492) 3260

静岡出張所 TEL 054 (289) 2241

本社・工場 / 〒480-0132 愛知県丹羽郡大口町秋田3-133 TEL0587 (95) 7551(代)

出張工場 / 〒699-0631 島根県簸川郡斐川町大字直江町3538 TEL0853 (72) 4311

<http://www.starseiki.com>



於：グリーンエネルギー技術社

トン射出成形機による定電圧供給装置の実証試験に立会いました。過電圧使用による電力浪費を低減する装置である。

成形サイクル中の無負荷時間内をポンプモーターの回転数が即時通常回転数になる最低回転数で待機をする調整機能装置です。負荷時の70%以下の電圧で待機をします。成形サイクルの材料計量終了後の冷却時間に相当し、1ショット30秒サイクル稼働で節減10%であり、油圧駆動成形機用が完成しています。電動式、ハイブリッド式も開発可能であると説明がありました。韓国も電動式が50%普及していると聞きました。

グリーンエネルギー技術社の定電圧供給装置AVRは油圧式、電動式、ハイブリッド式の成形機に対応可能であれば、日本においても採用を検討する省エネ機器であると思われます。

一方NADA社のEIMOLDとは金型のキャビティを型開取出時間内に加熱昇温して射出冷却するシステムです。1サイクルタイムは変わらないが成形品のヒケ、ウエルドが極めて目立ちにくい。PL面に必ず糸バリが出る欠点がある。十数点の成形サンプルを見ましたが、メタリッ

ク、グラスファイバー入り、シボ仕様等の外観は極めて光沢があり、ウエルドレス、シボ転写率は100%である。

欠点はPL面に糸バリが発生しているのが採用に難色であろうと思われます。



於：NADA社

青年経営者研究会 理事会

3月19日午後6時30分より名古屋国際ホテルで開催、11名が出席した。平成22年度の事業計画、収支予算案などについて検討した。また、会長交代に伴う次期役員の人選も併せて行い、次期会長をはじめ役員を内定した。その後、第35回平成21年度通常総会の日程を4月23日(金)午後6時から名古屋国際ホテルで開催すること、その役割分担も決定した。

今後の課題として、今年度4名が特別会員に移るため引き続き会員増強を強力に推し進めることを決めた。特に正会員の行事への出席率の向上を図ることも同時に決定した。

**技術とハートがスパークする
ドラマチック創造企業**

プラスチック、セラミックス、MIM金型

株式会社 三洋製作所

本社工場 名古屋市緑区鳴海町下汐田 177 番地

TEL 052-621-5238 FAX 052-621-3501

中央三井信託銀行

名古屋支店 TEL.052-242-7311

〒460-0008 名古屋市中区栄3丁目15番33号栄ガスビル

『変化の先取りつねに挑戦』

オハラ樹脂工業株式会社

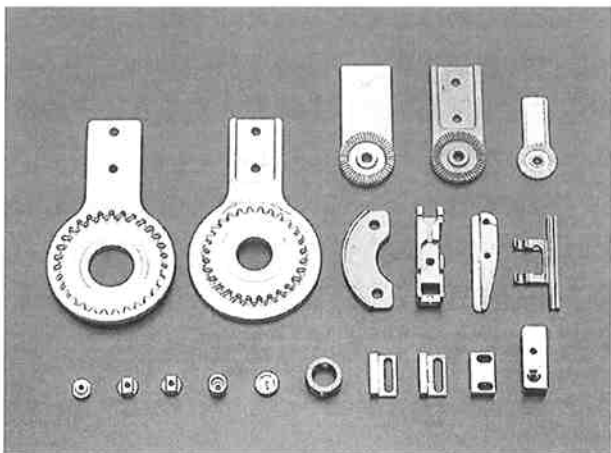
代表取締役社長 尾原成夫

『変化の先取りつねに挑戦』というスローガンを今期掲げている、オハラ樹脂工業株式会社。

昨年より製造の基本に立ち返り、『体質改善強化』する為に『5S』『原価低減』『安全』の三本柱の、全社活動を展開中。

1947年の創業以来、初めての売り上げ減少を経験した事が、従業員と共に大きく変化しようという思いにつながった。

最近の自動車業界を取り巻く環境に素早く対応するために、ベトナム工場の拡張・強化。国内工場では金型作製強化とコア技術であるMIM（メタルインジェクションモールディング）に力を入れている。



MIM製品



オハラ樹脂工業東工場

MIMとは、母材となる金属の粒にバインダーと呼ばれる樹脂を混ぜたモノを通常の成形機・金型を使用して射出成形し、その後『脱脂』（バインダーを少々残す）、『焼結』（バインダー全てを飛ばす）して金属100%にする加工方法で、切削工程が複雑なもの、加工が難しい小物製品にメリットがあります。樹脂型で成形出来る形状なら可能である。

現在、オハラ樹脂では『鉄』と『SUS』だけだが、今後『チタン』や『タングステン』等にも挑戦していく。

『企業体質』と『技術力』の強化を基盤に一歩先へ柔軟に適應していく企業を目指し、作り上げていきます。

DJK 第一実業株式会社

本社 東京都千代田区二番町11-19 ☎102-0084 ☎ダイヤルイン東京(03) 5214-8500
 大阪支店 大阪市北区天満5丁目14番10号(梅田UNビル) ☎530-0047 ☎ダイヤルイン大阪(06) 366-2800(受付案内台)
 札幌支店 札幌市中央区南一条西3丁目8番地(札幌ビル) ☎060-0061 ☎(011)241-2435(代表)
 名古屋支店 名古屋市中区錦2丁目3番4号(名古屋フロントタワー) ☎460-0003 ☎(052)201-5471(代表)
 広島支店 広島市中区中町8番12号(広島グリーンビル) ☎730-0037 ☎(082)248-0295(代表)
 営業所 仙台・静岡・四国・福岡
 出張所 滋賀・北関東

MATSUI in search of rapport

株式会社 松井製作所

名古屋営業所 ☎457-0831 名古屋市南区荒浜町5-8

tel:052-614-2601(代) fax:052-614-2626

●本社 tel:06-6942-9555(代) ●東京本社 tel:03-5992-3191(代)

<http://www.matsui-mfg.co.jp/>

《平成22年1～3月会員景況感調査報告(全国版)》

総回答数 258社

1. 地域別内訳(事業の中心をおいている地域)

東日本 63社	神奈川県 24社	中部日本 47社	西日本 124社
---------	----------	----------	----------

2. 売上(または取扱)商品の中で最もウエイトの高いものの内訳

日用品・雑貨類 30社	包装用容器・キャップ 44社	電気・電子・通信部品 56社
自動車・輸送機器部品 74社	住宅関連 11社	医療機器 9社
その他 32社		

3. 従業員数の内訳

20人未満 61社	21～50人 67社	51～100人 58社	101～300人 45社	301人以上 19社
-----------	------------	-------------	--------------	------------

4. 今期(平成22年1～3月)の自社業績について<()内は前回の結果です>

	前期(平成21年10～12月)比			前年同期(平成21年1～3月)比		
	1. 増加	2. 横這	3. 減少	1. 増加	2. 横這	3. 減少
①生産・売上高	31.8 (35.9)	38.4 (34.8)	28.7 (27.8)	54.7 (22.6)	20.2 (24.4)	23.6 (51.9)
②製品単価	3.1 (3.7)	73.6 (75.2)	22.1 (19.6)	6.6 (4.1)	61.2 (55.2)	31.0 (38.5)
③採算	17.4 (20.7)	49.6 (48.9)	31.4 (28.9)	39.9 (24.1)	32.2 (31.1)	26.4 (43.3)
④所定外労働時間	25.2 (25.6)	50.8 (47.0)	22.9 (25.9)	41.5 (24.1)	37.6 (34.4)	19.8 (40.4)
⑤製品在庫	14.0 (14.8)	59.7 (54.4)	24.8 (27.8)	20.5 (14.8)	46.5 (43.0)	32.2 (40.7)
⑥樹脂原料単価	47.3 (25.9)	48.8 (65.9)	1.9 (6.7)	53.9 (24.4)	40.3 (51.1)	4.7 (23.3)
⑦総合判断	19.4 (23.0)	48.8 (46.3)	29.1 (29.3)	38.8 (24.4)	31.8 (29.6)	27.1 (44.8)
⑧来期の見通し	17.8 (18.1)	52.3 (41.5)	24.8 (35.2)	34.1 (23.0)	40.7 (33.3)	19.4 (38.5)

5. 当面の経営上の問題点(%)<()内は前回の結果です>

1. 受注不振 50.0 (57.0)	2. 売上不振 41.1 (50.7)	3. 輸出不振 1.6 (4.8)	4. 製品単価安 41.5 (39.6)	5. 取引条件悪化 6.2 (5.6)
6. 過当競争 19.4 (19.3)	7. 輸入品との競合 6.6 (7.0)	8. 流通経費増大 5.4 (4.8)	9. 原材料高 46.1 (25.9)	10. 借入負担増 9.7 (13.3)
11. 貸し渋り 1.6 (3.7)	12. 人件費高 10.1 (13.7)	13. 技能者不足 12.8 (12.2)	14. 技術力不足 11.2 (13.3)	15. マーケティング力不足 5.8 (7.0)
16. 設備過剰 3.9 (9.3)	17. 法的規制 3.1 (0.7)	18. 為替問題 6.2 (8.1)	19. 環境問題 3.9 (4.1)	20. 人材育成 28.7 (22.6)
21. 研究開発 7.4 (4.4)	22. その他 2.3 (1.1)			

6. 工場稼働率について

1. リーマンショック前の水準まで戻った	15.1 %
2. " 約8割まで戻った	44.2 %
3. " 約6割まで戻った	19.4 %
4. " 約5割まで戻った	4.3 %
5. その他	13.2 %

TOYO
CSいちばん宣言!
 Customer Satisfaction ICHIBAN

東洋機械金属株式会社 電動サーボ射出成形機 / 金型
<http://www.toyo-mm.co.jp>
 中部支店: 〒465-0051 愛知県名古屋市長区社が丘1-1202
 TEL.052-704-4500 FAX.052-704-3980

一生涯のパートナー
第一生命

生涯設計
 第一生命保険相互会社
 ホームページ
<http://www.dai-ichi-life.co.jp/>
 それぞれの生き方に、
 いつもベストな備え方。

7. 皆様のご意見、ご要望

- リーマンショック後、工場稼働率は下落傾向にある。
- 国内に対して中国生産は増加傾向にあるが、中国価格のためコストは極めて厳しい。トラブルがあると足が出る状況にあり、将来不安が増してくる。
- デフレの中で、原材料が値上がりし、製品価格に転嫁できない状況、また受注の減少（採算悪化）に困っている。
- 基本技術の海外流出について、法的規制が必要。信金、信組の株式化による市場資金の流動化が必要である。タンス預金の流動化。
- 先行不安。原材料高に対する対応転嫁困難。
- 稼働率は、より戻ったという表現になく、4割ダウンで、その後横這いです。
- 横這い状態が続いている。
- 前年度導入した新設備による、新規顧客の受注が今年度下期の売上に期待できそう。
- 景気の動向をみても国内の需要は低迷し、プラスチック業その他の製造業の稼働は良好になる見通しができない状態であるが、日本の物作り技術、質改善、安心できる製品の提供をできる企業は国内、国外輸出も多くあり、景気も良好になると考えられます。
- 稼働率→戻らない。
- 改正省エネ法、太陽光発電からの余剰電力購入制度、労働基準法改正、労働者派遣法改正、等々の対応についての研究、意見交換等できませんか。
- どうなるか？なんて全くわかりませんが、向上心を捨てず、日々生き延びるしかない。
- トヨタの中興の祖石田退三氏のことば「自分の城は自分で守る」勝間和代さんのことば「ねたまず、怒らず、愚痴らず」で所得20倍に!!自動車部品については4月以降は全く不透明。
- 値下げ要求が過大。
- 工場の稼働率は、回復に向かっているが少子化など様々な問題から、国内生産から海外現地生産に急速に変わっている。今後は、弊社でもインド・ブラジルなど展開が加速し、国内の空洞化が心配である。技術・技能の伝承も絶えてしまう事が無いようにしたい。
- 横ばいということは採算が悪いということです。
- 我々は日々、品質・環境問題と付き合いながら廃プラの発生・処理又は得意先からの過剰品質によって時代と逆行していませんか？
- 法改正についていけない。
- 工場稼働率とともに売上高がリーマンショック前の水準で8割以上戻らないと、本当の意味での「回復」とはいえないと考えます。またデフレ状態のままでは、製品単価安のままでは苦しい状況は変わりません。
- デフレで末端価格が下落傾向にも関わらず、原材料が値上げ、価格に転嫁できない。
- 新規受注で成形機1台導入（発注した）。
- ナフサ高騰により原料高。販売単価が競争激化により低下傾向。
- 先行き不透明で、不安材料がいっぱいです。
- 現在の方が稼働率が落ちた。
- 新型インフルエンザ対応の為、去年は非常に忙しい状態でありましたが、今年に入って客先の在庫調整により、受注が減っている状況です。
- 海外移管の流れ。
- 不変。
- 自動車部品は、品質を必要以上に要求される為採算が良くない。レベルを落としてくれたら単価も下げられるのだが。
- 昨年と比較して現在の工場稼働率は極めて悪化している。

各分類ごとの業況判断(平成22年1～3月期)＜前期比・前年同期比＞

1. 数字は単純平均%で表示しております

	全体		団 体 別				製 品 別																		
	中部日本		東 日 本		神 奈 川 県		西 日 本		雑貨類		容器包装		電気・電子		自動車		住宅関連		医療機器		その他				
	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比	前年比	前期比			
生産高 売上高	増加	31.8	54.7	38.3	63.8	34.9	55.6	16.7	41.7	30.6	53.2	26.7	43.3	18.2	25.0	32.1	58.9	37.8	79.7	36.4	36.4	33.3	44.4	37.5	50.0
	横這	38.4	20.2	40.4	14.9	33.3	20.6	54.2	25.0	37.1	21.0	30.0	10.0	38.6	47.7	39.3	16.1	45.9	8.1	27.3	36.4	33.3	33.3	31.3	21.9
	減少	28.7	23.6	21.3	19.1	31.7	23.8	25.0	29.2	30.6	24.2	40.0	43.3	43.2	27.3	26.8	25.0	14.9	8.1	27.3	36.4	33.3	22.2	31.3	28.1
製品単価	上昇	3.1	6.6	4.3	10.6	4.8	9.5	0.0	0.0	2.4	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	10.7	0.0	8.1	9.1	9.1	11.1	11.1	3.1	6.3
	不変	73.6	61.2	78.7	55.3	69.8	61.9	75.0	79.2	73.4	59.7	76.7	63.3	84.1	75.0	62.5	50.0	74.3	58.1	90.9	81.8	77.8	88.9	71.9	56.3
	下降	22.1	31.0	17.0	31.9	25.4	28.6	25.0	20.8	21.8	33.9	20.0	33.3	15.9	25.0	26.8	39.3	25.7	31.1	0.0	9.1	11.1	0.0	25.0	37.5
採 算	好転	17.4	39.9	17.0	44.7	22.2	38.1	16.7	37.5	15.3	39.5	16.7	20.0	11.4	13.6	16.1	46.4	17.6	59.5	9.1	36.4	44.4	55.6	21.9	34.4
	横這	49.6	32.2	61.7	29.8	44.4	30.2	50.0	29.2	47.6	34.7	40.0	33.3	47.7	45.5	44.6	30.4	59.5	21.6	63.6	36.4	33.3	22.2	50.0	43.8
	悪化	31.4	26.4	19.1	23.4	33.3	31.7	33.3	29.2	34.7	24.2	40.0	43.3	40.9	38.6	35.7	23.2	21.6	16.2	27.3	27.3	22.2	22.2	28.1	21.9
所定外 労働時間	増加	25.2	41.5	31.9	55.3	28.6	33.3	25.0	33.3	21.0	41.9	10.0	13.3	22.7	22.7	28.6	50.0	28.4	59.5	27.3	54.5	22.2	22.2	28.1	37.5
	横這	50.8	37.6	51.1	25.5	39.7	44.4	41.7	41.7	58.1	37.9	60.0	60.0	45.5	50.0	37.5	25.0	58.1	25.7	54.5	36.4	66.7	66.7	50.0	40.6
	減少	22.9	19.8	17.0	14.9	31.7	22.2	33.3	25.0	18.5	19.4	23.3	26.7	31.8	27.3	32.1	25.0	13.5	10.8	18.2	9.1	11.1	11.1	21.9	21.9
製品在庫	増加	14.0	20.5	12.8	27.7	14.3	20.6	0.0	8.3	16.9	20.2	10.0	10.0	15.9	13.6	12.5	23.2	16.2	29.7	18.2	9.1	22.2	22.2	9.4	18.8
	横這	59.7	46.5	72.3	44.7	55.6	42.9	62.5	54.2	56.5	47.6	46.7	50.0	59.1	61.4	58.9	41.1	67.6	40.5	63.6	54.5	55.6	44.4	56.3	43.8
	減少	24.8	32.2	14.9	25.5	30.2	36.5	37.5	37.5	23.4	31.5	36.7	40.0	25.0	25.0	26.8	35.7	14.9	27.0	18.2	36.4	22.2	33.3	34.4	37.5
材 料 調達単価	上昇	47.3	53.9	40.4	46.8	60.3	57.1	37.5	41.7	45.2	57.3	56.7	66.7	63.6	65.9	39.3	48.2	37.8	43.2	27.3	54.5	66.7	66.7	53.1	56.3
	横這	48.8	40.3	59.6	44.7	39.7	39.7	62.5	58.3	46.8	35.5	33.3	26.7	34.1	29.5	57.1	50.0	59.5	48.6	63.6	36.4	33.3	22.2	43.8	37.5
	下落	1.9	4.7	0.0	6.4	0.0	3.2	0.0	0.0	4.0	5.6	6.7	3.3	2.3	4.5	0.0	1.8	1.4	5.4	0.0	9.1	0.0	11.1	3.1	6.3
総合判断	好転	19.4	38.8	23.4	46.8	28.6	39.7	20.8	33.3	12.9	36.3	13.3	16.7	9.1	6.8	21.4	55.4	20.3	56.8	18.2	27.3	44.4	44.4	25.0	34.4
	横這	48.8	31.8	53.2	21.3	38.1	31.7	50.0	33.3	52.4	35.5	43.3	36.7	50.0	54.5	46.4	19.6	59.5	21.6	36.4	36.4	22.2	22.2	46.9	43.8
	悪化	29.1	27.1	23.4	29.8	33.3	28.6	25.0	33.3	29.8	24.2	40.0	43.3	38.6	36.4	28.6	23.2	17.6	17.6	36.4	36.4	33.3	33.3	28.1	21.9
来期の 見通し	好転	17.8	34.1	17.0	38.3	27.0	31.7	16.7	41.7	13.7	32.3	16.7	13.3	6.8	9.1	25.0	51.8	13.5	50.0	36.4	36.4	11.1	0.0	28.1	31.3
	横這	52.3	40.7	40.4	36.2	57.1	46.0	79.2	41.7	49.2	39.5	43.3	43.3	68.2	70.5	53.6	33.9	50.0	24.3	36.4	45.5	66.7	55.6	43.8	40.6
	悪化	24.8	19.4	36.2	14.9	14.3	20.6	4.2	12.5	29.8	21.8	30.0	36.7	20.5	18.2	17.9	14.3	32.4	16.2	18.2	18.2	11.1	22.2	25.0	18.8

各分類ごとの経営上の問題点(平成22年1～3月期)

1. 数字はすべて前期比で、単純平均%で表示しております
2. 傾向がわかるように、値が50%以上の場合は網掛けを行っております

	全 体	製 品 別						
		日用品・雑貨類	容器包装・キャップ	電気・電子・通信部品	自動車	住宅関連	医療機器	その他
受注不振	50.0	50.0	50.0	57.1	44.6	45.5	22.2	56.3
売上不振	41.1	60.0	29.5	42.9	40.5	45.5	44.4	37.5
輸出不振	1.6	0.0	0.0	0.0	4.1	0.0	0.0	3.1
製品・請負単価安	41.5	43.3	38.6	35.7	50.0	45.5	22.2	37.5
取引条件悪化	6.2	3.3	6.8	1.8	9.5	9.1	0.0	9.4
過当競争	19.4	23.3	13.6	16.1	20.3	18.2	22.2	28.1
輸入品との競合	6.6	16.7	4.5	7.1	2.7	0.0	0.0	12.5
流通経費増大	5.4	0.0	2.3	3.6	13.5	9.1	0.0	0.0
原材料高	46.1	76.7	65.9	26.8	33.8	45.5	66.7	43.8
借入負担増	9.7	3.3	4.5	14.3	13.5	18.2	11.1	3.1
貸し渋り	1.6	3.3	0.0	1.8	1.4	0.0	0.0	3.1
人件費高	10.1	3.3	9.1	10.7	13.5	0.0	11.1	12.5
技能者不足	12.8	3.3	18.2	17.9	13.5	0.0	0.0	12.5
技術力不足	11.2	10.0	13.6	17.9	8.1	0.0	22.2	6.3
マーケティング力不足	5.8	6.7	9.1	3.6	5.4	0.0	0.0	9.4
設備過剰	3.9	3.3	2.3	5.4	2.7	9.1	0.0	6.3
法的規制	3.1	0.0	0.0	1.8	5.4	0.0	0.0	9.4
為替問題	6.2	10.0	0.0	7.1	6.8	18.2	22.2	0.0
環境問題	3.9	3.3	11.4	1.8	4.1	0.0	0.0	0.0
人材育成	28.7	30.3	18.2	23.2	41.9	27.3	33.3	21.9
研究開発	7.4	3.3	9.1	12.5	5.4	9.1	0.0	6.3



プラスチック用産業合理化機器メーカー

NAKAMURA

中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory 東京支店 Tokyo branch
 〒444-0951 愛知県岡崎市北野町字草家101 〒192-0054 東京都八王子市小西町B-37
 TEL:0564131-2919 TEL:0426120-5466
 FAX:0564131-9435 FAX:0426120-5461
 URL <http://www.nakamurakagaku.co.jp/>

PLASTICS WORLD
YAMASO
山宗株式会社

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825
 TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138
 東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海
 営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京
 茨城・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜

平成22年度行事日程

- 4月16日 職業訓練校 入校式
4月23日 青年経営者研究会 第35回通常総会
5月26日 通常総会
第5回優秀従業員表彰式
10月22・23日 合同支部会
11月13日 第47回永年勤続優良従業員表彰式
11月14日 プラスチックの日事業
1月14日 平成23年新年賀詞交歓会
3月18日 職業訓練校 修了式

業界レポート

[協会・組合の動向]

▼理事会

- 2月17日 (名古屋市工業研究所) 26名
(1)正会員第1支部クミ化成(株)の新規入会について審議の結果、全員一致で承認。
(2)事務局より新年賀詞交歓会の収支について報告、また業況判断アンケート(平成21年10～12月期)について説明。
(3)訓練校の平成22年の申込状況について説明。養成を含め採算が極めて厳しい状況であり、協力を要請。
(4)その他、委員会、連合会、青年会、年金基金、事務局報告。
- 3月17日 (名古屋市工業研究所) 26名
(1)平成22年度事業計画・予算案について、平成21年度決算見込みとあわせ説明、概ね承認、4月の理事会で再度検討する。
(2)第5回平成22年度優秀従業員の被表彰者6名を審議、全員一致で承認。

- (3)正会員第8支部日清紡メカトロニクス(株)高分子事業部、第4支部シミズ工業(株)及び賛助会員シーテック協同組合の新規入会について審議の結果、全員一致で承認。
(4)事務局から平成21年度入会・退会の説明。協会は正会員9社、賛助会員2社の入会。退会は正会員6社、賛助会員5社で両会員併せて20年度末と同数、また組合は20年度末比2社増となったと報告。
(5)職業訓練校の訓練生申込状況報告があり、養成は補助金対象の5名が確保できた。
(6)平成21年度後期技能検定の実施結果報告と平成22年度前期技能検定実施日程が原田技能検定委員長より発表された。
(7)その他、委員会、連合会、青年会、年金基金、事務局報告。

▼総務委員会

- 2月17日 (名古屋市工業研究所) 8名
(1)本日の理事会の審議案件につき討議した。
(2)その他。

▼総務委員会

- 3月15日 (名古屋市工業研究所) 10名
(1)3月17日開催の理事会の審議案件について討議した。
(2)次期役員候補者について討議。
(3)その他。

▼文化広報委員会

- 3月10日 (名古屋市工業研究所) 7名
(1)第79号・第80号の反省と第81号編集方針について検討。
(2)その他。

[全日本プラスチック製品工業連合会]

射出成形を トータルサポート

NISSEI 射出成形機・金型・複合材料・成形支援システム
日精樹脂工業株式会社
<http://www.nisseijushi.co.jp>

■東海営業所 / 〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 TEL(0568)75-9555(代)
■岡崎出張所 / TEL(0564)52-1430
■本社・工場 / 〒389-0693長野県埴科郡坂城町南条2110 TEL(0268)81-1050

成形不良率低減への提案

「ハングリー射出成形法」特許取得

株式会社 日本油機

〒229-0003 神奈川県相模原市東淵野辺4-2-2
TEL 042-757-6681 FAX 042-757-6683
E-mail nihonyuki@sunny.ocn.ne.jp

▼事務局会議

3月16日（横浜ホテルアソシア）

(1)事務局より海外研修参加者、4団体合計で26名が参加。また服部会長よりナフサ課税が再燃の可能性あり、事前に関係団体及び経産省と協議すると報告。

(2)その他。

▼中央技能検定委員会

2月25日（弘済会館） 児玉委員

(1)中央職業能力開発協会主催で各県の首席検定委員を集めて研修会が開催された。

(2)その他。

告 知 板

【入会】

▽正会員 第4支部

シミズ工業(株) 代表取締役社長 尾上 治
〒448-8534 愛知県刈谷市一ツ木町茶煎坊下1
TEL(0566)23-2335 FAX(0566)22-8019

▽正会員 第8支部

日清紡メカトロニクス(株)高分子事業部
事業部長 浅見千秋
〒444-8560 愛知県岡崎市美合町字小豆坂30
TEL(0564)57-8610 FAX(0564)57-8611

▽賛助会員

シーテック協同組合 代表理事 磯野正幸
〒461-8630 名古屋市東区相生町55
TEL(052)979-5850 FAX(052)979-5851

【代表者変更】

▽正会員 第2支部 北川工業(株)

代表取締役社長 北川清登

▽正会員 第7支部 明和合成(株)

代表取締役社長 吉田和正

【事務所移転】

▽賛助会員 ウシオライティング(株)名古屋支店
〒450-0002 名古屋市中村区名駅5-7-30
TEL(052)589-1340 FAX(052)589-1341

【住居表示変更（市町村合併）】

▽正会員 第2支部 (株)ヒマラヤ化学工業所
〒490-1214 愛知県あま市北苅二反田108

▽正会員 第6支部

(株)ヒラザワ
〒490-1114 愛知県あま市下萱津池端38
山勝工業(株)

〒490-1114 愛知県あま市下萱津新替1018

通常総会のお知らせ

〈第5回優秀従業員表彰〉

【開催日】平成22年5月26日(水)

【受付】午後1時30分

【会場】名古屋国際ホテル

- 1.総会 組合（第46回）《14:00～14:40》
協会（第39回）《14:45～15:30》
- 2.第5回優秀従業員表彰式《15:35～15:55》
- 3.記念講演会 《16:20～17:50》
テーマ：「人のハートをつかむ話術」
講師：Est Communication School
主席講師 服部千代氏
- 4.懇親会 《18:00～20:00》

射出成形機とホットプレス機の製造・販売

射出機の「^{いま}現在」を創り、
「^{これから}未来」を変えていく。



株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL (0562)47-2391(代) FAX(0562)47-2395
<http://www.meiki-ss.co.jp>

愛知県プラスチック成形工業組合が平成2年に設立した
ゆたかな老後の生活を守る
愛知県プラスチック成形厚生年金基金

名古屋市中区新栄町2丁目13番地
(栄第一生命ビル)

TEL(052)953-8411
FAX(052)953-8417